

# 食品ロス等削減運動を支える県の主な施策(H30)①

参考資料4

## ①3R推進全国大会関連事業

### <目的・内容>

国民・事業者・行政が一堂に会し、それぞれの取組みや知見を共有・発信することにより、3Rに関する理解と取組みを促進することを目的とし、基調講演、パネル展示などを行う。

### <開催日・参加人数>

日時 10月12日(金) 13:00~17:00  
場所 富山国際会議場メインホール  
参加者 約600名



## ②「とやま食ロスゼロ作戦トークイベント」の開催

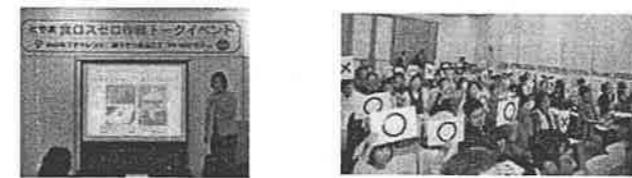
### <目的・内容>

一般県民等を対象として、食品ロスをテーマとした外部講師によるトークイベントを行い、県民が食品ロスの削減について考える機会を創出し、意識啓発を行う。

(「第13回3R推進全国大会」及び「とやま環境フェア2018」の関連イベントとして開催)

### <開催日・参加人数>

日時 10月13日(土) 10:30~12:00  
場所 イオンモール高岡  
講師 崎田裕子氏  
参加者 約70名



## ③子ども向け食品ロス削減啓発事業（9月補正予算）

### <目的>

未就学児を対象に、楽しみながら食品ロスを学べる紙芝居や動画を制作することで子どもの頃から「もったいない」精神や食べ物を大切にする心を育成するとともに、子どもから親への普及を図り、親子で一緒に食品ロス削減に取り組むきっかけを創出する。

<制作物> 紙芝居、動画 <配布先> 県内図書館、保育所、幼稚園、認定こども園 等

### <制作内容案>

・期限の新しい牛乳から買われていったため売れ残った牛乳とすきりんごちゃんが出会い、食品ロスについて学ぶ物語  
・賞味期限と消費期限の違いについてすきりんごちゃんが学ぶ物語

## ④「ロスゼロウィーク県民チャレンジ」の実施

### <目的>

県民総参加で食品ロス削減の取組みの実践を促し、その効果を実感し継続につなげるため、家族やグループ単位で食品ロス削減にチャレンジするキャンペーンを実施する。

### <キャンペーンの概要>

チェックシート付きのチラシを配布し、また、フリーペーパー等で周知を行った。

(取組期間) 平成30年8月1日(水)~平成30年8月7日(火)

(取組内容) ①食品ロスを出さなかった日はチェックシートに「○」を付ける。

②「○」の数に70g(家庭から排出される1人1日あたりの食品ロス量)をかけて、削減量を推計。

取組期間後、チェックシートを応募してもらい、県全体での削減量を集計した。また、集計結果を3R推進全国大会などで発表した。

### <結果>

(1) 参加人数 18,855人

参加・協力いただいた企業・団体数 51企業・団体

(2) 削減した食品ロス 約6.8トン(ご飯茶碗 約45,000杯分)



## ⑤「サルベージ・セミナー」の開催支援

### <目的・内容>

手付かず食品の削減に有効なサルベージ・パーティについて、団体等の自主的な開催を促進するため、団体等がセミナーを開催する際の講師派遣や、開催方法などについてのマニュアル作成を行う。

### <講師派遣の実績等>

第1回: 富山県婦人会新川地区連合(48名参加)  
第2回: 富山県食生活改善推進連絡協議会(45名参加)  
第3回: 富山短期大学(30名参加)  
第4回: 北陸料理技術検定協会(11/3予定)  
第5回: 小矢部市環境保健衛生協議会・小矢部市婦人会(11/11予定)  
その他、5回開催予定



## ⑥エコ・ストアアプリの「使いきり3015」通知機能追加等の改修

### <目的・内容>

「使いきり3015」の実践を促すため、スマホアプリ「とやまエコ・ストアアクション」を改修する。

### <追加機能>

・30日と15日に、使いきりの日であることを通知する機能  
・使いきりレシピやサルベージ・パーティで生まれたレシピの公開、検索機能

<公開日> 6月21日(木)~



## ⑦食材丸ごと使いきり推進事業

### <目的>

子どもとその親や祖父母、地域住民などを対象に、「もったいない」、「ありがたい」といった食べ物に感謝する心を養うとともに、食べ物を無駄なく使いきる大切さや食べるべき重要性について地域で食育活動を実践しているボランティアの人たちと協力して食育を学ぶ機会とする。

### <事業の概要>

#### ①食材使いきりコンテストの開催

食材をいかに無駄なく活用するかの工夫を凝らしたコンテストを開催し、食材ロスの削減と食材の有効活用に向けた実践につなげる。

#### ②食育講座の開催

食品ロスの発生要因から手軽に実践できる削減方法など、食品ロス削減に向けた取組みを学ぶ。

対象: 各地区の子どもやその親、祖父母、地域住民 など  
20地区(全市町村)



## ⑧商慣習の見直しに向けた検討

### <目的>

食品流通過程における食品ロス発生の原因となりうる過剰在庫や納品期限等の商慣習について、フードチェーン全体で話し合いを行いその解決を目指す。

### <検討内容>

「飲料及び賞味期間が180日以上の菓子」の納品期限緩和に向けた課題と方策 等

### <メンバー>

製造業: 5社、卸売業6社、小売業6社、アドバイザー

### <開催回数>

検討委員会2回(7月、9月)、業種毎の分科会各1回(8~9月)

# 食品ロス等削減運動を支える県の主な施策 (H30)②

## ⑨商慣習の見直しに関する検証事業

### <検証事業>

賞味期間が短い一部の加工食品を対象に、納品期限を緩和した場合の食品ロス削減効果等について検証

検証内容:(製造)出荷機会の拡大による食品ロス削減効果

(小売)納品期限緩和に伴う廃棄・売価変更等への影響

実施時期:平成30年11月

### <アンケート調査>

#### (1)食品事業者向けアンケート調査

県内の食品関連事業者における納品期限や販売期限の設定状況等についてアンケート調査を実施

調査内容:・納品期限・販売期限の設定状況　・余剰生産の状況

・商慣習における問題や成功事例等

実施時期:平成30年10月～11月

#### (2)消費者向け意識調査

賞味期限や商慣習に関する消費者の意識を把握とともに、食品ロス問題について意識啓発を図るため、スーパーの店頭で聞き取り調査を実施

調査内容:賞味期限・消費期限、商品の選択方法、販売期限、納品期限、品切れ等に対する意識

実施時期:平成30年10月

## ⑩商慣習見直し啓発事業(9月補正予算)

### <目的・内容>

食品流通過程における納品期限等の緩和を促進するため、納品期限の緩和や過剰在庫の解消等に取組む事業者の優良事例等をまとめた事例集を作成するとともに、県民向けに商慣習の見直しに関する啓発物を作成し、県民の理解促進を図る。

<作成部数> 事例集:1,500部

啓発物:5,000部

### <配布先>

事例集:県内食品関連事業者(製造業、卸売業、小売業)

啓発物:一般県民

## ⑪期限間近商品の優先購入促進キャンペーンの実施

### <目的・内容>

消費・賞味期限が近接している商品から優先的に購入してもらえるように消費者に啓発を行い、期限切れで廃棄される商品の削減につなげる。

### <キャンペーンの概要>

消費・賞味期限の近接した商品の購入が食品ロス削減につながることを消費者に広く周知し、理解促進を図るため、スーパー等の店頭にポスター、POP等PR媒体を掲示する。

(1)実施期間 平成30年10月9日(火)～平成30年11月30日(金)

(2)実施店舗(協力店) 食品ロス等削減運動協力宣言事業者等  
県内食料品小売店 128店舗

〔このほか、(株)アマリーマート、  
(株)セブン-イレブン・ジャパンでも実施〕

### <PR媒体>

ポスター、POP等  
・食品ロスや消費期限・賞味期限の違いについて周知。  
・商品を手前から取ることを啓発。



## ⑫「ロスゼロ」モデル推進事業

### <目的・内容>

食品販売・購入を通じて食品ロスを削減するため、小売店の先進的で全県的な広がりの可能性のあるモデル活動の企画を募集し、その活動を支援する。

### <募集対象>

食品ロスの削減に積極的に取り組む小売業者

### <補助率>

1/2(限度額500千円、複数店舗の場合1,000千円)

### <補助申請の予定>

現在、2事業者と調整中。

## ⑬「食べきり3015運動」推進事業 「食べきりサイズメニュー」導入促進事業

### <「食べきり3015運動」推進事業>

3015運動をPRする三角柱等を制作し宴会の席等に配置してもらうとともに、幹事向けチラシにより3015運動の協力依頼をしてもらうことで、宴会参加者の3015運動の実践を促進する。

制作物:三角柱POP、ポスター、チラシ

配布先:県内ホテル・旅館、居酒屋、仕出し屋等



### <食べきりサイズメニュー導入促進事業>

飲食店での食べきりを推進するため、小盛りメニューの導入を飲食店に働きかけ、全県的に小盛りメニューの導入促進を図る。

制作物:テント型POP、ポスター、チラシ

配布先:レストラン等県内飲食店

## ⑭「とやまのエコフィード」利用推進支援事業

### <目的>

食品残さ等をエコフィードとして利用することにより、畜産における飼料自給率の向上を図る取組みを支援するとともに、地域内未利用資源の有効活用を推進する。

### <実施内容>

#### (1)エコフィード需給マッチング推進事業

①食品製造業者と畜産農家とのマッチングに向けた調整を実施

食品製造業者	種類	地域	畜種
A	酒粕	黒部市	乳牛
B	農場残さ	県下全域	乳牛・肉牛
C	ウイスキー粕	砺波市	乳牛



【規格外農場残さ】



【地ビール粕】

②北陸地域エコフィードセミナーの開催 (H30.10.18 40名参加)

③エコフィードの成分分析の実施(5検体)

・地ビール粕、菓子屑等混合飼料の分析



【給餌車】

#### (2)エコフィード利用体制整備事業

エコフィードの利用に必要な機械等の整備支援  
(酪農家に対し給餌車の導入支援)